

平成26年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年10月2日  
上場取引所 東証第二部

上場会社名 マックスバリュ東北株式会社  
コード番号 2655 URL <http://www.mv-tohoku.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内田 和明  
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経本部長  
兼内部統制担当 (氏名) 古谷 憲介  
四半期報告書提出予定日 平成25年10月3日 配当支払開始予定日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 :  有・無  
四半期決算説明会開催の有無 :  有・無 (アナリスト向け)

TEL (018)847-0111

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第2四半期の業績(平成25年3月1日~平成25年8月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成26年2月期第2四半期	49,960		251		280		103	
平成25年2月期第2四半期	47,349	2.6	568	11.9	588	33.9	684	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
平成26年2月期第2四半期	5.86	5.85
平成25年2月期第2四半期	36.23	36.20

(注) 当社は、平成25年2月期に決算日を2月20日から2月末日に変更しており、平成26年2月期第2四半期は比較対象期間が異なることから、対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
平成26年2月期第2四半期	25,830	4,140	15.9
平成25年2月期	23,695	4,009	16.9

(参考) 自己資本 平成26年2月期第2四半期 4,118百万円 平成25年2月期 3,998百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
平成25年2月期		0.00		0.00	0.00
平成26年2月期		0.00			
平成26年2月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有・ 無

3. 平成26年2月期の業績予想(平成25年3月1日~平成26年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	98,000		1,200		1,100		700		37.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有・ 無

平成25年2月期に決算日を2月20日から2月末日に変更しており、平成26年2月期第2四半期は比較対象期間が異なることから、対前期増減率については記載しておりません。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有・無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有・無

以外の会計方針の変更 : 有・無

会計上の見積りの変更 : 有・無

修正再表示 : 有・無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	平成26年2月期2Q	12,000,000株	平成25年2月期	12,000,000株
期末自己株式数	平成26年2月期2Q	7,806株	平成25年2月期	7,806株
期中平均株式数(四半期累計)	平成26年2月期2Q	11,992,194株	平成25年2月期2Q	11,992,230株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。平成25年9月30日付けにて、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
- 上記1.「平成26年2月期第2四半期の業績」(1)「経営成績(累計)」の「1株当たり四半期純利益」「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」及び3.「平成26年2月期の業績予想」の「1株当たり当期純利益」の金額については、A種種類株式が転換仮定方式に準じて算定された株式数を、普通株式の期中平均株式数に加えて算定しております。

添付資料の目次

1 . 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
( 1 ) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
( 2 ) 財政状態に関する定性的情報 .....	3
( 3 ) 業績予想に関する定性的情報 .....	4
2 . サマリー情報 (注記事項) に関する事項 .....	4
( 1 ) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
( 2 ) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更、修正再表示 .....	4
3 . 四半期財務諸表 .....	5
( 1 ) 四半期貸借対照表 .....	5
( 2 ) 四半期損益計算書 .....	7
( 3 ) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	8
( 4 ) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
( 5 ) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
( 6 ) 重要な後発事象 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当社は2013年2月期に決算期変更を行ったため当第2四半期累計期間は前期と比較対象期間が異なりますが、文中の金額対比や対前年同期増減率については2012年2月21日から2012年8月20日の期間と対比して算出しております。

当第2四半期累計期間における経営環境は、政府の経済政策に期待感が高まり円高の是正や株高の進行などをはじめ景気の緩やかな回復の動きが見られましたが、輸入原材料などの値上げ圧力が強まるとともに長引く電力供給不安などにより依然として先行き不透明な状況が続いております。当社がスーパーマーケットとして営業基盤とする北東北エリアにおいても、人口減少とともに企業の生産活動の縮小等による雇用不安と個人消費の停滞が長期化し、お客さまの生活防衛志向や節約志向が継続して、競合各社との価格競争に加え業種・業態を超えた競争が激化するなど厳しい状況が続いております。

こうした中で当社は、ザ・ビッグ業態店舗の強化をはじめお客さまの日々のくらしのニーズにこだわった品揃えによる営業力の強化と、イオンのブランド「トップバリュ」の売上拡大等による収益力の改善、おもてなしの心がこもった接客と魅力ある売場づくりに取り組んでまいりました。併せて今期を3年目とする「事業構造改革」として、収益力の向上、店舗網の再構築、財務体質の抜本的な強化の三本柱を主軸とした構造改革に取り組んでおります。

当第2四半期累計期間においては、ディスカウント業態の12店舗目となる「ザ・ビッグ潟上店」を秋田県内に開設するとともに、当社として初めて新潟県内に進出し、村上市の「マックスバリュ荒川アコス店」や新潟市の「マックスバリュ藤見町店」など7店舗を新設して、第2四半期末の店舗数は前期末より8店舗増加し96店舗となりました。さらに同期間中には6店舗の大型改装を実施し、立地特性に合わせた魅力的な売場づくりを進めてまいりました。

また昨年より開店時刻を午前7時に繰り上げ、朝食や昼食のための品揃えを強化して新たな客層の獲得に努めた他、「4時からデリカ」という取り組みにより、できたて・つくりたて食品の訴求を継続して実施しております。さらにノンフーズ売場の拡充により品揃えの幅を拡大した他、生鮮食品部門でのトップバリュ商品の拡大などにより価格競争力の強化に努めるとともに、小容量パックの充実、和惣菜や調理の手間を省く商品の品揃えに努めました。併せて、イオンの電子マネーWAONやシニア世代のお客さまに向けたG.G.WAONカードのホルダー拡大などによる固定客づくりを進めてまいりました。

当第2四半期累計期間では、戦略的な価格政策により一点単価を下げ一人当たり買上点数を上げる積極的なシェア拡大を進めたことなどにより売上総利益率は対前年同期比0.2ポイント低下し21.7%となりましたが、上記のような取り組みを実施した結果、期間中のお客さま一人当たり買上点数は既存店ベースで対前年同期比100.0%、客数は同102.5%、客単価は同99.2%となり、既存店売上高は同101.6%となりました。一方経費面では、収益性の向上のためコスト構造改革を継続して進めておりますが、販売費及び一般管理費の総額は既存店ベースで対前年同期比102.1%となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は営業収益499億60百万円(対前年同期比105.5%)、営業利益2億51百万円(対前年同期比44.2%)、経常利益2億80百万円(対前年同期比47.6%)となり、四半期純利益は1億3百万円(対前年同期比15.1%)となりました。

#### <商品部門別の動向>

農産・水産・畜産・サービスデリの生鮮食品部門においては、震災後増加している家族で囲む食卓用やハレ型の商品群である刺身、牛肉、内食志向・調理の簡便な商品群の惣菜やサラダ・冷凍水産品、昨年6月から開始した早朝営業により弁当、寿司などの商品群が好調に推移しました。

加工食品・デイリー食品部門においては、家族の絆を大切に集いに対応する商品の品揃えや内食志向・簡便志向に対応した売場づくりに努めた結果、デザートやフローズンレディミール、チルド加工品、ワインなどの商品群が好調に推移しました。

非食品部門では、医薬品の品揃えの充実やノンフーズコーナーの拡充を進めた結果好調に推移しております。

さらに、「トップバリュ」の拡販に努めた結果、全体に占めるトップバリュ商品の売上構成比は、前年同期の14.2%から当第2四半期累計期間では15.3%となりました。

#### <商品部門別売上状況>

前事業年度及び当事業年度における販売実績を商品部門別に示すと、次のとおりであります。

商品部門別	前事業年度 〔2012年2月21日から 2012年8月20日まで〕		当事業年度 〔2013年3月1日から 2013年8月31日まで〕		比較増減
	金額	構成比	金額	構成比	金額
	千円	%	千円	%	千円
加工食品	16,398,276	35.4	17,041,028	34.8	642,751
生鮮食品	16,588,980	35.9	17,723,692	36.2	1,134,712
デリー食品	11,087,974	24.0	11,807,742	24.1	719,767
食品部門計	44,075,231	95.3	46,572,462	95.1	2,497,231
ノンフーズ	2,079,734	4.5	2,326,401	4.7	246,667
その他	106,306	0.2	113,371	0.2	7,065
非食品部門計	2,186,040	4.7	2,439,772	4.9	253,732
合計	46,261,271	100.0	49,012,235	100.0	2,750,963

#### (2) 財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

流動資産は、前事業年度末に比べ10億56百万円増加し、75億81百万円となりました。これは、当会計期間末日が金融機関休業日のため決済が翌会計期間へ回ったこと等により現金及び預金が5億79百万円、電子マネー決済の増加等で未収入金4億98百万円が増加したこと等によります。

固定資産は前事業年度末に比べ10億77百万円増加し、182億48百万円となりました。これは、新規出店8店舗及び改装6店舗等により有形固定資産が9億39百万円増加、投資その他の資産は差入保証金が1億18百万円増加したこと等により1億39百万円増加しました。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べ21億34百万円増加し、258億30百万円となりました。

##### (負債)

流動負債は、前事業年度末に比べ24億58百万円増加し、177億91百万円となりました。これは、当会計期間末日が金融機関休業日のため決済が翌会計期間へ回ったこと等により買掛金が35億8百万円、未払金及び未払費用が8億71百万円、流動負債その他が6億27百万円増加し、短期借入金が返済により24億80百万円減少したこと等によります。

固定負債は、前事業年度末に比べ4億55百万円減少し、38億98百万円となりました。これは、長期借入金が返済により3億51百万円減少したこと等によります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べ20億3百万円増加し、216億90百万円となりました。

##### (純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べ1億30百万円増加し、41億40百万円となりました。これは、四半期純利益1億3百万円の計上により利益剰余金が増加したこと等によります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前年四半期累計期間末より5億68百万円増加し12億79百万円となりました。当第2四半期累計期間における

キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、前年同四半期累計期間より 23 億 85 百万円増加し、50 億 77 百万円となりました。その主な要因は、当累計期間末日が金融機関休業日に伴い買掛金支払が翌会計期間に回ったことによる仕入債務の増加 35 億 8 百万円、その他負債の増加 9 億 44 百万円、減価償却費 6 億 94 百万円、未収入金の増加による支出 4 億 98 百万円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、前年同四半期累計期間より 4 億 39 百万円増加し、12 億 24 百万円となりました。その主な要因は、有形固定資産の取得による支出 9 億 19 百万円、差入保証金の差入による支出 2 億 69 百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、前年同四半期累計期間より 13 億 64 百万円増加し、32 億 73 百万円となりました。その主な要因は短期借入金の純減額 24 億 80 百万円、長期借入金の返済による支出 7 億 92 百万円等によるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

2014 年 2 月期通期の業績予想につきましては、2013 年 4 月 9 日に公表しました業績予想を修正しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更、修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2013年2月28日)	当第2四半期会計期間 (2013年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	700,831	1,279,948
売掛金	100,631	153,288
商品	2,485,410	2,477,211
貯蔵品	30,480	35,660
前払費用	267,844	301,006
繰延税金資産	328,019	250,094
未収入金	2,427,736	2,926,208
その他	186,364	159,786
貸倒引当金	2,008	1,224
流動資産合計	6,525,309	7,581,979
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,084,082	9,486,479
工具、器具及び備品(純額)	737,564	1,330,806
土地	5,222,737	5,187,836
建設仮勘定	36,960	15,545
有形固定資産合計	15,081,345	16,020,668
無形固定資産	23,810	22,746
投資その他の資産		
投資有価証券	75,523	98,443
長期前払費用	488,404	540,799
差入保証金	1,355,212	1,473,632
その他	158,869	95,372
貸倒引当金	12,627	3,357
投資その他の資産合計	2,065,382	2,204,890
固定資産合計	17,170,538	18,248,304
資産合計	23,695,848	25,830,284

(単位:千円)

	前事業年度 (2013年2月28日)	当第2四半期会計期間 (2013年8月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
買掛金	7,245,842	10,753,990
短期借入金	2,480,000	-
1年内返済予定の長期借入金	1,358,550	917,650
未払金及び未払費用	2,021,269	2,893,062
未払法人税等	67,306	104,498
未払消費税等	139,070	220,019
賞与引当金	93,468	96,846
役員業績報酬引当金	15,459	3,268
店舗閉鎖損失引当金	-	19,600
設備関係支払手形	487,209	717,463
資産除去債務	8,002	20,952
その他	1,416,516	2,044,247
<b>流動負債合計</b>	<b>15,332,694</b>	<b>17,791,602</b>
<b>固定負債</b>		
長期借入金	1,192,300	840,900
退職給付引当金	339,241	343,550
長期預り保証金	1,522,660	1,469,949
繰延税金負債	112,361	96,035
資産除去債務	922,805	958,149
その他	264,061	189,817
<b>固定負債合計</b>	<b>4,353,432</b>	<b>3,898,401</b>
<b>負債合計</b>	<b>19,686,127</b>	<b>21,690,003</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	3,585,000	3,585,000
資本剰余金	4,062,645	4,062,645
利益剰余金	3,657,467	3,554,354
自己株式	7,196	7,196
<b>株主資本合計</b>	<b>3,982,980</b>	<b>4,086,094</b>
<b>評価・換算差額等</b>		
その他有価証券評価差額金	15,552	32,447
<b>評価・換算差額等合計</b>	<b>15,552</b>	<b>32,447</b>
<b>新株予約権</b>	<b>11,188</b>	<b>21,739</b>
<b>純資産合計</b>	<b>4,009,721</b>	<b>4,140,280</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>23,695,848</b>	<b>25,830,284</b>



(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2012年2月21日 至 2012年8月20日)	当第2四半期累計期間 (自 2013年3月1日 至 2013年8月31日)
売上高	46,261,271	49,012,235
売上原価	36,124,895	38,398,729
売上総利益	10,136,376	10,613,506
その他の営業収入	1,088,151	948,603
営業総利益	11,224,527	11,562,110
販売費及び一般管理費	10,655,757	11,310,439
営業利益	568,769	251,670
営業外収益		
受取利息	1,190	1,351
受取配当金	662	1,056
債務勘定整理益	10,614	3,293
補助金収入	7,266	7,773
違約金収入	5,438	7,926
受取保険金	32,929	24,086
貸倒引当金戻入額	-	1,384
その他	1,442	6,538
営業外収益合計	59,543	53,409
営業外費用		
支払利息	36,072	21,896
貸倒引当金繰入額	2,142	-
リース解約損	-	1,582
その他	1,876	1,452
営業外費用合計	40,091	24,931
経常利益	588,222	280,148
特別利益		
固定資産売却益	285	-
収用補償金	18,445	-
資産除去債務取崩益	45,697	-
特別利益合計	64,429	-
特別損失		
減損損失	-	24,746
固定資産除売却損	13,604	-
投資有価証券評価損	-	960
店舗閉鎖損失引当金繰入額	-	19,600
特別損失合計	13,604	45,307
税引前四半期純利益	639,046	234,841
法人税、住民税及び事業税	278,955	77,114
法人税等調整額	324,516	54,614
法人税等合計	45,560	131,728
四半期純利益	684,607	103,113

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2012年2月21日 至 2012年8月20日)	当第2四半期累計期間 (自 2013年3月1日 至 2013年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	639,046	234,841
減価償却費	676,119	694,026
減損損失	-	24,746
貸倒引当金の増減額(は減少)	840	10,054
賞与引当金の増減額(は減少)	3,068	3,378
役員業績報酬引当金の増減額(は減少)	6,045	12,190
店舗閉鎖損失引当金の増減額(は減少)	-	19,600
退職給付引当金の増減額(は減少)	27,831	4,308
受取利息及び受取配当金	1,852	2,407
支払利息	36,072	21,896
有形固定資産売却損益(は益)	285	-
有形固定資産除却損	14,929	-
投資有価証券評価損益(は益)	-	960
その他の損益(は益)	85,452	162
売上債権の増減額(は増加)	45,060	52,657
未収入金の増減額(は増加)	255,214	498,472
たな卸資産の増減額(は増加)	111,988	3,019
仕入債務の増減額(は減少)	1,281,175	3,508,148
未払金の増減額(は減少)	132,972	56,534
未払消費税等の増減額(は減少)	49,011	80,949
新株予約権の増減額(は減少)	3,659	10,551
その他の資産の増減額(は増加)	38,559	65,134
その他の負債の増減額(は減少)	382,502	944,572
小計	2,778,210	5,096,723
利息及び配当金の受取額	681	1,075
利息の支払額	32,694	20,579
その他の収入	47,076	38,397
その他の支出	850	2,035
法人税等の支払額	100,744	36,284
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,691,678	5,077,298
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	720,181	919,537
有形固定資産の売却による収入	285	21,763
差入保証金の差入による支出	268	269,415
差入保証金の回収による収入	37,596	65,191
預り保証金の受入による収入	10,264	20,158
預り保証金の返還による支出	54,999	113,547
その他	58,033	29,493
投資活動によるキャッシュ・フロー	785,335	1,224,881

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2012年2月21日 至 2012年8月20日)	当第2四半期累計期間 (自 2013年3月1日 至 2013年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	885,000	2,480,000
長期借入金の返済による支出	1,022,900	792,300
その他	1,040	1,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,908,940	3,273,300
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	2,598	579,116
現金及び現金同等物の期首残高	713,851	700,831
現金及び現金同等物の四半期末残高	711,253	1,279,948

( 4 ) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

( 5 ) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

( 6 ) 重要な後発事象

該当事項はありません。